

みんなくしっちょる通信

2016. 3. 25 祝！創刊号

はじめまして！！

昨年9月に「地域おこし協力隊」として着任しました宮崎です。少しでも受入家庭さんに私の存在を知っていただきたいと思います、記念すべき創刊号ながら表紙を飾らせていただくことになりました！

これを機に、ぜひ顔を覚えてくださいね！

プロフィール

名前：宮崎 隆秀（みやざき たかひで）
出身：神奈川県川崎市宮前区
年齢：34歳（昭和56年10月7日生まれ）
前職：旅行会社勤務
趣味：国内旅行、サイクリング、鉄道旅行
将来の目標：お嫁さんを見つけて結婚して萩に定住すること！

What is

“地域おこし協力隊”？

「ズバリ地域への「定住（永住?!）」を目指す！」

そのために地域住民の方との繋がりを作り、住みやすい生活環境を整え、協力隊の任期後も安定した暮らしができるよう、就業先を探したり起業をしたりして生活の基盤を作っていきます。

目指せ!!「宮崎社長(笑)」。



協力隊のロゴ

宮崎知っちょる？！



現在の萩市の印象

「城下町だけではない
魅力がたくさんある」

萩に来る前までは、「萩＝城下町」という、観光客の方と一緒に感想でしたが、実際に住んでみると、海・山・川の三拍子がそろった自然があり、そこでとれた作物や魚は都会では味わえない美味しさです。お陰さまで、たくさん好き嫌いがありましたが、かなり克服することが出来ました！

なぜ広報紙を??

「ご家庭同士や事務局との繋がりを強くしたい」

1月下旬から2月上旬にかけて、昨年受け入れてくださったご家庭の個別訪問をさせていただきましたが、そのなかで「繋がりの希薄さ」を感じたのが広報紙を作成しようと考えた理由です。

この広報紙を通じ、受入家庭の皆さんや事務局が情報の共有を行い、共通の話題として認識していくことができればとの思いで始めました。

この広報紙が、皆さんのお役に立てれば幸いです。

なぜ萩へ？

「もったいない観光資源をどうにかしたい」

世界遺産などの観光資源があり、全国からも「萩市」の認知度が高いにもかかわらず、それらをしっかりと生かしきれていないところに、もったいなさを感じたのが萩へ移住しようとしたキッカケです。

（宮崎が考える…）

萩市の民泊目標

「県下一、笑顔が多い受入地域を目指して」

萩に来てくれたからには、生徒皆さんが笑顔になって帰って欲しいですね。

また、受入家庭の皆さんや保護者の皆さんも笑顔になれる受入地域を目指して、しっかりとサポートをさせていただきます！

発行：萩市農林振興課
監修：溝部 美津枝
編集人：恩村 博文
編集：宮崎 隆秀
河津 梨香(広報課)
〒758-8555
萩市江向 318-2
(萩市役所第5庁舎内)
TEL：0838-25-4192
FAX：0838-25-3770

○萩の民泊について○

■受入エリア
→萩市全域
(山口市あとう地域とも連携)
■2015年度の受入数
→762人(全部で8校)
■2013年からの総受入数
→2070人
■受入家庭登録数
→70軒

◇2016年度のスケジュール◇

●受入予定●

○板櫃(いたびつ)中【小倉北区】・・・5/17(火)―5/19(木)
○高生(たかお)中【戸畑区】・・・5/31(火)―6/2(木)
○曾根(そね)中【小倉南区】・・・6/14(火)―6/16(木)
○※城南(じょうなん)中【小倉南区】・・・6/27(月)―6/29(水)
○緑丘(みどりがおか)中【門司区】・・・10/4(火)―10/6(木)
○※則松(のりまつ)中【八幡東区】・・・10月17日の週
※城南中と則松中は萩での民泊は初めて。

受入のための県内研修会が、萩で開催されました！



旅行会社やNPOの経験を生かして指導する宍戸講師

2月25・26日の2日間にわたり、体験型教育旅行の『受入体制強化研修会』が、むつみコミュニティセンターを中心に開催されました。これは、来てもらった子どもたちと一緒に体験を通して感動して帰ってもらおうためのポイントを学び、またその土台となる「事故を防いで、安全で安心な体験づくり」を目指したものです。受入家庭の皆さんをはじめ、県内各地域から集まった協議会メンバーなど37名が参加しました。

講師は、まちむら交流きこうでグリーン・ツーリズムチーム長を務める宍戸信一（ししど・しんいち）さん。体験活動における「キケンの元」を徹底調査することから、「では、どうするか？」という具体的な対策まで、事例をもとに説明されました。例えば、“カマを渡すと刃の部分を持つ生徒がいる”など、田舎にいる私たちにはビックリな出来事ですが、都市に暮らす子どもはカマ自体を知らないため、危険を予知して事前に伝えることが大切です。ちよつとした油断がケガにつながるため、一つずつ小さなことから気を付けましょうという教えが胸に刻まれました。



八千代酒造でのラベル描き

おすすめポイント
紹介コーナー
【連載 vol.1】

ザキさんぽ。

『一本杉』

山のなかを歩いていくと、突如として現れる大杉。周りを竹やぶに囲まれているなかで、なぜか一本だけ、こんなにも大きな杉が存在している。葉音以外人工的な音が聞こえず、周囲は神聖な雰囲気包まれている。
推定樹齢は600年、高さ36m。市の天然記念物に指定されている。（600年前は室町時代）
このような光景が見られるのは、個人的にかなり珍しい気がする。
この珍しい光景に生徒も感心するかも？！

【福栄地域紫福支所から、二反田方面へ徒歩約15分】
（県道吉部下萩線沿いの看板が目印）



編集後記

先日、北九州へ出張してきた。
目的は、平成28年度に初めて萩で民泊を行う城南中学校との打ち合わせのため。学年主任の先生からは、萩の歴史ある街並みなどに対して非常に興味を示していただいた。これは大変嬉しいことなのだが、個人的には、歴史の町だけではない自然豊かな萩の姿もたくさん見て、新たな萩の一面も知っていただければと思う。

受入家庭さん紹介コーナー
（予告）

現在、受入を行っていただいているご家庭のなかから、お料理や体験活動などで工夫されている点や、受入時の苦労話や嬉しかった話などをインタビュー形式でお聞きしていくコーナーです。
意外な情報が聞けちゃうかも...?!
お楽しみに！！



郷土料理講師のひとり、「むつみ・キッチンばあ〜ば」代表の山本さん

より4名の可愛い“ばあ〜ば”を迎え、真ふぐや山菜を使った郷土料理作り。清水のほとりにしか自生しないという“ていらぎ”は、ばあ〜ばたちが摘み取ってきてくれた旬のもの。珍しさとクレソンに似た味姿で、話題的となりました。料理を満喫した後、「おいしい、楽しいという良い結果の裏には、しっかりとした段取りや後方支援があります。今日のようなおもてなしができたら、民泊はうまくいきましょー！と、宍戸講師から総評をいただきました。（河津梨香）

北九州も知っちゃう？

北九州と言えば、皆さんは何を思い浮かべますか。小倉城？門司港レトロ？それとも小倉競馬場？
三者三様の答えが返ってくるかと思いますが、今回は北九州市の概要を萩市と比較しながらまとめてみました。
○人口：960,525人（世帯数426,164世帯）
→萩市は50,468人（世帯数24,005世帯）
※萩市の約20倍の人口（平成28年2月末日の統計）
○面積：491.95km²
→萩市は698.31km²
○中学校の数、生徒数：72校、生徒数26,497人
→萩は16校で生徒数が1,133人
※平成27年度の統計（私立校含む）
○北九州市出身の著名人：草刈正雄（俳優）、つるの剛士（タレント）、板谷由夏（女優）、山本リンダ（歌手）、舛添要一（東京都知事）、なかやまきんに君（お笑いタレント）

いかがでしょうか。普段なかなか、はっきりとした数値をご覧になったことがない方も多いかと思います。生徒さんとのお話のネタなどに、ぜひ使ってみて下さい♪



北九州の玄関口「小倉駅」